

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学科 哲学専攻

ニーチエの芸術について	相原 孝治	三位一体論の変遷	多賀 彩香
美的実存における絶望について	阿部 眞帆	トマス・アクィナスの神解釈を中心に	照喜名裕子
レヴィナスにおける暴力	荒木加奈子	フッサールとレヴィナスにおける他者経験	中野 常雄
西田幾多郎の宗教哲学	家城 智	ハイデッガーの時間性に関する一解釈	西澤 充弘
「死」について	石塚 尚樹	差異性と同一性から	野々村剛秀
死刑廃止の考察	糸野 周平	決定論と自由の問題 因果律と意志の自由の両立	橋爪 裕典
終身刑の再検討	大山 豪	可能性について	早坂のぞみ
精神の異郷	ヘーゲル哲学における自然と精神について	自由主義及び功利主義に関する考察	古川 理恵
哲学者ニーチエ	J・S・ミルの『功利主義論』について	自己の究明	古川 理恵
有効性と問題点	メルロ・ポンティ 実存の現象学	「あいだ」に着目しつつ	古野 陽子
心の所在	鎌倉 隆行	ゆとりの教育とは	松田 英里
現象学における察するということについての考察	上出 彩子	「ルソー・ロック・ロジャーズを通して」	松田 英里
現象学における察するということについての考察	川尻 隆一	マツハと廣松渉	松本 玲奈
形而上学 アリストテレスの存在論	神澤 好美	存在について	松本 玲奈
自由意志の表象としての世界	佐々木勇人	「アリストテレスの形而上学」	横山 裕亮
「積極的自由と消極的自由」		幾何学的秩序に従って論証された人間の自由と幸	夏山 明子
		福	若松 亮
		「スピノザ「エチカ」から」	
		動物の命と平等	
		人間の生死と自己決定権	
		ヘラクレイトス	

認知の規則性とは何か 生川 裕樹

コネクショニズムと思考の二重過程理論

E・フッサールの空間理論 辻村 直也

ヘラクレイトスについて 田村ますみ

ベンヤミンが見た近代 井ノ口夏恵

乳幼児安楽死 大槻 千種

いのちを誰が決めるのか

和辻倫理学で読み解く『銀河鉄道の夜』 神田めぐみ

世間における私

関わることからわかることを考える 朴 泰子

ライプニッツとショーペンハウアー「个体概念」を通じて 梶谷 宜弘

ベルグソンに於ける認識論 川島 洋平

ヴェイユにおける他者論と愛 中谷 有希

口こもる詩人・ヘルダーリン 永畑 紗織

ハイデッガー、アドルノ、ベンヤミンの立場から

肉と皮膚感覚 七井 悠

生、ゾーエー、ピオス、ホモ・サケル、マルチチ

ユード 布川 亮平

アリストテレスの正義について 前川 豊宏

ソクラテス以前の自然哲学について 山田 佳代

梅原猛論 松田 泰典

日本人の宗教観

人間本性は如何にして可能となるか 新谷 知磨

フーコー「狂気の歴史」から狂気の歴史的意味を

探る 中村 充芳

人の善悪の判断の起源について 五百蔵和雅

哲学科 教育人間学専攻

容、それらを生かし、自己肯定感を育める教育とは、
純粋経験としての愛の探求 鎌田 泰明
西田幾多郎の『善の研究』をめくって

ジャズと人間形成 河合 昭依

心身相関的治療の実証的研究 北 はるな
～手当ての効果を中心に～

「卒業論文」についての批判的考察 北沢紗由理
学びの本質に迫る 木下 皓司

命 小林 春香
～京都市立郁文中学校一部学級における学びを通じて～

マンガ・アニメにおける表現様式と商業様式 首藤 剛
その影響力の諸層

存在と言葉 歌いながら そして嘆き 汐満 裕子
全人的発達と自己哲学の確立 清水 美里
～カウンセリングとポディワークを導きの糸として～

ココロとカラダの関係 志水 美穂
からだにおける自己表現 志村 和子

野菜作り 徐 梨華
～その癒し効果と可能性～

獲得するものとしての幸福 杉本 崇
～幸福の本質についての考察から～

「性」と「生」を守るために 高島 宏美
性的虐待と性教育から考える「セルフ・ディフェ

ンス」とは 武田 賢昭
般若心経から学ぶ私観 田辺 知里

日本人の身体観と人間形成 大長 謙介
～「触る」という事に発して～

年代ごとの移行対象の変化

障害のある子どもとその支援 塚本 有華

ある保育園の取り組みの検討を通して 辻本 郁恵
「食べるということ」の教育

その可能性と課題 中島 彰夫
笑う存在としての人間

ユーモアの可能性を探る 中山 織華
現職教員養成の課題と可能性

～学びあつよりよい教育者を目指して～ 永田 知子
持つ様式とある様式

新たな生き方を求めて 西山 智彦
自己・存在・肉体

内的差異から生成する自己と所有者としての肉 野口 李枝
日本人にとつての『宗教』についての考察

『イスラーム』理解の中で 能登 洵子
室内環境の気分誘導効果に関する実験的研究

「存在と時間」について 野々垣隆臣
『学問のすゝめ』から見た現代社会論 濱田 文子

ジェンダー・アイデンティティ 藤本 涼子
子どもの食事環境 前田 祥子
増えている子どもの孤食化

大学生における自尊心が達成動機に及ぼす影響 牧野裕一郎
私のライフストーリーの教育人間学的考察

保育支援 室屋 明菜
～青年像の変化から～

デューイ教育思想と現代日本教育の比較 天木真梨子
～現代社会とフリーターについて～

魂とはいかなるものか 井口 果林
～無意識における生命エネルギーへの気づき～

幼児期から学童期における教育・子育て支援ネッ トワーク 岩村阿津子
保育園・小学校・学童保育の連携の中で

集団における睦みの可能性 浦田 睦美
「キレる」という現象の分析から

居場所の構築 枝廣 和恵
実践とその課題

心の教育のあり方を探る 恵本 好隆
～心のノートの検討を通して～

人間形成における「虚構」の創造について 大島 晴香
子どもたちがおもしろいと感ずる絵本 大瀧 徹也

「自分らしさ」批判 沖 修平
人間形成におけるアイデンティティの問題につい

て 不登校と概日リズム 落合 秀明
シユタイナーの幼児教育 笠井 絵美

あたたかな愛に満たされた「雰囲気」の重要性に ついて 門田 善江
自己肯定感の育まれ方

～自分自身を深く見つめた四年間、そしてかけがえの ない人たちとの出会い、関わりの中で得られた自己変

Jazzにおける音楽観

本松 教子

魂に響く語りとは

北村 寛美

「青年は荒野をめざす」論
～人生とは、青春とは、自分とは～

岩崎 直也

モダンJazzを築いた二人の名プレイヤーから人間学的に考察する

森山 真弥

化粧が及ぼす心理的効用についての考察
化粧による意識の変化

楠 日出子

芥川龍之介『鼻』論
『藪の中』論

上野 梓

内的駆動

森山 真弥

嫌悪考

久保 千鶴

泉鏡花『外科室』
黄表紙について

梅田 衣理

情熱の現象学的考察

矢尾 沙織

死と悲嘆の対処

久保田智子

樋口一葉「十三夜」論
巖谷小波「こがね丸」論

梅本久美子

大阪文化の再発見

矢尾 沙織

現象学的人間観による考察

久保田智子

太宰治「ヴィヨンの妻」論
小川未明「赤い蠟燭と人魚」

太田 千尋

人間関係の視点からの考察

山上 育伸

真の自己愛と「癒し」
気功八段錦の効果

坂倉 文子

万葉の植物と民俗
竹取翁歌論

大西 一輝

現代社会における大衆娯楽が人間形成に及ぼす影響について

山口 綾子

魂の視点から見た芸術
ナラティブな時間性の不連続がもたらす自己への影響

橋本 光代

『大鏡』論
小野宮家の周辺

大前 梓

～いくつかの主要なジャンルを手がかりに～

山口 綾子

「いのちの教育」が子どもに与える影響
～公立小学校での事例を通して～

三桝 美幸

内田百閒論
「生活」から「作品」へ

小阪田奈緒子

環境・空間と人のこころ

山口 綾子

自身の経験からスポーツの価値を考える

丸尾 光代

与謝野晶子『みだれ髪』論
近世における上方絵の考察

小路 紗織

カペの超越

山本 雅美

北野と紙屋川をめぐる遊女と巫祝の伝承の世界
右近の馬場 上七軒、高橋

荒巻 史枝

江國香織「こづばしい日々」研究
夏目漱石『心』論

川上 晃二

教育キャンプがもたらす子どもの変化

山本 陽子

京都府下京区鍛冶屋町に伝わる「鉄輪塚」伝説の環境

飯田 晶子

憲法染めの伝承環境
五条天神と兵法者の世界から

小林 華恵

大阪府茨木市のキャンプを通して子どもを見る言葉を超える力

吉田 祐樹

火の神の祭祀をめぐる伝承の巻

伊澤 恵美

遠藤周作論
「善」「罪」「悪」という概念から見た『深い河』

小林 裕幸

～現代日本のポピュラー音楽についての一考察～

小畑 裕美

天の川における羽衣伝説の風景
富山県砺波・婦負地方に伝わる牛獄の伝説

井田 雅子

その信仰と展開の風土
万葉集にみる歌垣

井上 千代

社会システムが個人に与える影響

小畑 裕美

『細雪』における生活文化について

井上 千代

宮沢賢治「注文の多い料理店」論
『桑名日記』における仮定条件表現について

嵯峨 靖子

～不登校がいけないという社会とは何か～

西野 文子

『細雪』における生活文化について

井上 千代

『桑名日記』における仮定条件表現について

佐藤志帆子

破壊と生成の美

西野 文子

美的人間形成を考える

井上 千代

性教育の必要性とその在り方
働く母親のもつ「意識」と「子育て感」大窪 恵

嵯峨 靖子

福祉現場における権利擁護を阻害する形成要因

川原 義彦

『細雪』における生活文化について

井上 千代

『桑名日記』における仮定条件表現について

佐藤志帆子

大江健三郎『叫び声』論	白井 礼子	夏目漱石「それから」論	西嶋知佳子	田山花袋「蒲団」	水野可奈子
夜叉ヶ池の伝説とその生成背景	神野 王香	荻原規子『空色勾玉』論	西村 結	漱石文学における自我の確立について	向田 美里
「夜叉」と名乗る女性たちの伝承世界		作品と素材		「それから」を題材に	
芥川龍之介『河童』論	楠木敬一郎	在日外国人の言語意識	野溝ひとみ	『落窪物語』研究	室屋さやか
風刺の意味をめくって		壺井栄「二十四の瞳」	橋本ゆかり	江國香織「落下する夕方」論	森永美紀子
「桜の実の熟する時」論	瀬戸 雅史	遠藤周作「侍」論考	林 慶子	宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論	山口 優子
比喩に見る北村薫の作品世界	多田今日子	鷗外歴史小説における女性像	日高 友郎	大鏡人物考	山室 亜樹
芥川龍之介「奉教人の死」論	田中 隆道	最後の一句と安井夫人を視座として		伊周と隆家	
「作者にとつての「構造物」		村上春樹『ノルウェイの森』論	平井 規夫	宮本輝「泥の河」論	吉岡佐百理
万葉挽歌論	田中三千代	春琴抄論	平野 絵美	岡崎京子「リバーズ・エッジ」論	由上三千代
巻七・一四〇四番歌の解釈をめくって		村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダ ーランド』論	平山 陽輔	島崎藤村『春』論	吉崎 竜矢
映像作家・押井守の語る現実と虚構、戦争と平和	田辺 貴洋	皇女三人と師輔	廣瀬 悠起	平野啓一郎がめざすもの	吉野 義孝
日本文学からみた近世の京都	塚本 春菜	岡山県玉野市渋川地区における「浜の神様」の伝 説の生成背景	福居 桃子	『日蝕』を中心に	
坂口安吾の視点	寺澤 善規	漂着信仰の物語とその管理者をめくって	藤井 学	山田詠美「風葬の教室」論	吉村明希子
菊池寛「俊寛」	富永友紀子	近世京都における仏書出版の状況		漢画系画題の文学的研究	和久山亮太
「伊豆の踊子」研究	中内 怜志	丁子屋九郎右衛門を中心に		室町時代物語における「めのと」	渡邊 恭子
作品論、教材論		夏目漱石「私の個人主義」論	前原 康彦	『鉢かづき』新解釈	渡邊謙太郎
太宰治「人間失格」論	中川 速志	「自己本位」という生き方について		村上春樹『ノルウェイの森』	
「人間失格」から考える太宰治の人間観		愛媛県久万高原町美川地区に伝わる源頼政の鶴 退治伝説	松田栄里子	「カウんセラーとしての『ノルウェイの森』」	
中原中也と現代ポップス 言葉の力	長井 王栄	赤蔵ヶ池と頼政の母をめぐる考察	松本 尚美	芥川龍之介『地獄変』論	韓少 鉦傘
氷室からもたらされた氷の靈力	永石 友香	日本のフリークス		李良枝『由熙』論	方 栄玉
七瀬被との接点から		「その身体認識の変遷」		在日韓国・朝鮮人の自分探し	
『赤い鳥』論	永田ひとみ	「地獄変」論	真井 智恵	日韓の「称号」について	崔 鳳花
世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド	長松 久美	国木田独歩「忘れえぬ人々」	馬渡 操子	言語行動における「日韓依頼表現」の対照研究	李 恩周
国木田独歩『牛肉と馬鈴薯』論	名越 大祐	国木田独歩の少年もの	水崎 愛子	伊勢大神楽の来訪する風景	島村 幾代
				南近江の事例から	

児童文学としての儒教価値観 王 学東

芥川龍之介「杜子春」について

愛知県岡崎市矢作に伝わる浄瑠璃姫伝説の生成

女性入水譚の系譜において 石川絵里子

太宰治『人間失格』 今井 優維

他者理解の壁

萬葉の山 林 美淵

山にいだく萬葉人の心

大衆文学と作家 白川 静

太宰治とその文学の女性性 林 久美子

万葉歌における早稲の考察 半代 真麻

累考 松本富美子

かさね物にみる、江戸怪談文化の価値

『兎の眼』論 杉山 倫弘

野上彌生子「海神丸」論 足立 博子

瀬戸内寂聴の文学に於ける構築と展開について

私小説「夏の終り」を中心に 合田 京子

片仮名から考察する「菊池寛の文学」 高橋 弥生

三島由紀夫『金閣寺』論 田中 洋之

「一人称告白体」にみる三島文学の世界

藤村『破戒』の考察 徳田 正子

松尾・稲荷・祇園・北野の御旅所から見る来訪神

の性格 原田 智子

巡行地域の様相から

紹巴作品の研究 馬場 民代

「手前味噌論」 福士 典子

『こがね丸』論 藤川 孝治

内田百閒「冥途」論 藤本 泰茂

佐藤春夫『西班牙犬の家』論

有吉佐和子『恍惚の人』論

介護文学の与えた社会的影響

灰谷健次郎論・分かりやすい文章の効果

「神神の微笑」論 岡田 浩太

忠臣蔵の笑い 国貞 文

ライトノベル論 鈴木 欧州

『蜻蛉日記』論 竹村 乾介

灰谷健次郎「兎の眼」論 所至有希子

三島由紀夫『宴のあと』論 中島 亮子

デイヴィッド・リンチ論 中島 涼太

表現としての愛の悲劇性 日野 裕二

万葉集歌を発端として

村上春樹文体論 水谷 央

中原中也論 清水 聡

中世の 詩観 をめぐる一考察

古事記神話論・三貴子の誕生をめぐって 大塚 敦志

自動車と家電に見る商品名の変遷 坂上 味里

村上春樹「ヤクルト・スワローズ詩集」 滝澤 真

南紀新宮に伝わる丹鶴姫伝説の背景 川上佐和子

文学科 中国文学専攻

中国古代服飾 礼制社会における「装い」の思想

中国古代理論 安藤真裕子

墨子について 猪田香菜子

J・D・サリンジャーの救いとは 大塚 晴輝

禅と道家の観点から

郭店楚簡にみられる子思子の政治思想について 川口 龍

易経の幾に関して 川邊 淳

茶の文化 北井 香

茶は中国に何をもたらしたのか

猫城記・火星に生きる人と国について それから

老舎のこと 黒金 拓也

仏教と志怪小説 小清水愛子

「傷逝」から見る人間鲁迅 小南 温子

哪吒太子のご事について 関 史佳

自殺・父子相克説話を核として

伯邑考という人物について 園田 華子

その同母兄弟を視野に入れて

則天武后と光明皇后 平 沙穂里

六朝志怪小説に見る怪異について 高石 和典

近現代中国における女性解放運動 高木 里織

五四運動を中心に

現代中国における女性の社会的地位 茶野 綾子

名医「華陀」と麻酔 戸田 崇哉

老子享受 泊 久美子

日中メディアによる大衆の合意形成と政治的役割

宗教観からみる中国思想と日本思想の比較 鳥越 淳

曹丕・曹植後継者問題及び文学と派閥について 永井 有希

蜀・譙周の儒学思想 丹羽 雄大

橋口 若奈

後漢以後の経学の変遷と譙周の経学

「中国人のサービス(服务)」

中国にサービスの概念は存在するの

お茶から見る中国と日本

蘇軾と出版文化

三國志における悪漢

董卓についての再考

中国社会の家父长制

農村家族の「家」の変遷

養生法としての呼吸法

梁祝故事と化蝶

姐己

〜悪女と呼ばれた女〜

人部薬の発展と衰退について

明代以前の各刀について

魯迅作品における詩的效果

范蠡と王の存在

中国ジャーナリズムの変遷と現在

内山完造のニューマニズムについて

〜同じ曲の流れた友のため〜

李贽における「童心」の言語思想

王守仁『伝習録』との比較を中心に

孔子の心像

二子の死をめぐって

孫子について

水滸伝の変遷と成立について

桃花源とユートピア

唐代の音楽文化について

文学科 英米文学専攻

藤 望

The Quebec Separatist Movement 江川 進
Breakfast at Tiffany's 研究 江藤 加奈
Louisa May Alcott, Little Women 研究 大井 千春

藤下 忍 Zora Neale Hurston, Their Eyes Were Watching God 研究 赤木 晴香

本邦の幸や 女性の手書き方 The Adventures of Huckleberry Finn 研究 岡田 欣也

堀尾由貴代

〜Janie の出会いを通しての自己探求〜

浅野 延子

人種にみる Huck の心その変化

前川 修平

ポアの死生観

阿部 和子

シエンター Edgar Allan Poe "The Fall of the House of Usher" 研究 岡本有香子

山岡 朋絵

言語における性差

石川 勝敏

協調の原則について Saul Bellow, The Adventures of Augie March 研究 小沢 加奈

山下 恵美

日英語の後置文の比較

Pride and Prejudice 研究 小貴 彩

山田 章子

Mark Twain The Adventures of Huckleberry Finn 研究

Elizabeth W. Mr. Darcy の結婚が持つ意味について

山本 恵里

Huck の Jim 観と Huck と Jim の関係について

The Magic Toyshop 研究 加藤 藍

山本 幸子

The Pictures of Dorian Gray 研究

Great Expectations 研究 梶原 弘子

和田 真一

同性愛とその役割について

E. M. Forster A Room with a View

合田 弥生

Alice's Adventures in Wonderland の謎の研究

International English の英語 Linguistic differences: studies on English and Japanese

高岡 秀和

〜 Lewis Carroll が創った不思議な世界〜

Samuel Beckett Watt 研究 川崎奈央子

藤原 聖也

EDGAR ALLAN POE, "THE MAN OF THE CROWD" 研究

Charles Dickens, Great Expectations 研究

阿部 亘

『情事の終わり』に見るマリー・ド・ヴワットの神とカトリシズム

シエークスピア喜劇研究

猪口 奈奈

The Scarlet Letter 研究

「夏の夜の夢」「ウエハリスの商人」を中心に

小倉 鉄士

17世紀のユトピア社会に生かされる人の詩意と未来について

河野 知佳

西村 智弥

A Study of Louis Hemon's Maria Chapdelaine: Traditional French-Canadian Life-Style and

川崎奈央子

上平 ゆき

平久保貴子

河野 知佳

Over から溢れ出す言語の認知	川端 雄一				
メタファーと象徴性					
William Somerset Maugham, The Moon and Sixpence 研究	川淵 久美	Graham Green, The End of the Affair 研究	小西 悠美	Soaphead Church の役割と意義	田中 宏明
Stephen King, The Green Mile 研究	川守 壮	"The Mysterious Stranger" 研究	後藤 明子	英語教育の基本問題	
救世主としての John Coffey		〜のメタフィラ	後藤 茂晃	文法中心教育か会話中心教育か	
Saul Bellow の Seize the Day について	神尾 真紀	The Waste Land 研究	佐藤 栄志	The House of Mirth 研究	田中みのり
ドナルド・バロウの読解と成書		A research of The Bluest Eye by Toni Morrison	佐藤 裕子	Lily の成書	
Their Eyes Were Watching God 研究	休山 治美	英語教育の可能性について	佐藤 敬大	Oscar Wilde, The picture of Dorian Gray 研究	田中 佑美
Janie の血口言葉		Mrs. Dalloway 研究	宿院 里美	ドナルド・バロウの映画における女性表象	谷口 絵美
＜ミソジナリ＞の『武器をわらわぬ』研究	木澤 良典	"Maurice" (E. M. Forster 著) について	塩見知佳子	The Scarlet Letter 研究	田淵 佳奈
Emily Dickinson 研究	北川 亜季	Helen Fielding, Bridget Jones's Diary 研究	下山絵津子	〜 Pearl から見た The Scarlet Letter	
Dickinson の詩と描かれた「死」		Bridget の完璧主義	非現実的理想と自信喪失	Theodore Dreiser の Sister Carrie に見られる階級社会と個人	玉置 珠実
Sula と彼女の the deweys の存在意義と影響について	北村 沙織	Henry James Daisy Miller 研究	田内 葉子	E. M. Forster の A Passage to India 研究	
理想的な英語教育	編田 祐基	Daisy の死が示唆するものの		Aziz の Fielding の友情について	伊達 俊介
一都物語研究	木村 千穂	Virginia Woolf The Waves における表現手法と主題の関係	高橋 淳	James Baldwin 研究	築地 龍馬
On the Double Object Construction	工藤 和也	伝達と英語の理解について	高橋 知英	Go Tell It on the Mountain における Baldwin の描いた黒人像	
英語圏での英語教育	久保山裕子	Jane Austen, Pride and Prejudice 研究	高橋 史	A Study of L. M. Montgomery's Jone of Lantern Hill: Montgomery of Journey's End	寺尾 仰
John Steinbeck, The Grapes of Wrath 研究		J. D. Salinger The Catcher in the Rye 研究		Jane Eyre 研究	豊田 哲也
作品における女性像について	熊谷 研子	結婚問題を通じた主人公の自己成長		Maggie, a Girl of the Streets の環境決定論	土井健太郎
Zora Neale Hurston, Their Eyes Were Watching God 研究	佐藤 明菜	ホーレスと持て持異性性との関係性	田上 萌	Edgar Allan Poe, "William Wilson" 研究	
Janie の血口言葉と神の存在		主題 "Song of Myself" 研究	竹下 珠未	主人公の Wilson の正体	中島あき菜
Edgar Allan Poe, "The Black Cat" "The Tell-Tale Heart" 研究	桑口 佳子	ウォルト・ホイットマン: 生命を謳う詩人		William Golding, Lord of the Flies 研究	中西 景子
人間存在の根源		Toni Morrison The Bluest Eye 研究	田代 直子	闇の向こうに見える光	キリスト教文学における罪
F. Scott Fitzgerald の The Great Gatsby 研究					

の癡癡と坊	社会的な敵因と家庭環境について		
The Moon and Sixpence 研究	Edith Wharton の “The House of Mirth” に描かれた出た社交界	福島 典朗	
Mark Twain, The Adventures of Huckleberry Finn	ついでに女性の悲劇を讀む		
研究	Greene Graham, The End of The Affair 研究	福原 幸	
Huck の血汗	Charlotte Brontë, Jane Eyre 研究	藤木なほこ	
Edgar Allan Poe, “The Black Cat” 研究	Jane の妹 Bertha の謎		
Ernest Hemingway, The Old Man and the Sea 研究	Bernard Malamud, The Assistant 研究	藤田紀生美	
The Bluest Eye 研究	Maurice 研究	藤田 若葉	
Pecola の血口腫脹の腫脹について	Maurice の回想		
The End of the Affair 研究	Edgar Allan Poe, “The Black Cat” 研究		
Theodore Dreiser, Sister Carrie 研究	“The Black Cat” の井田	藤原悠理子	
Carrie の腫脹について	T. S. Eliot の Old Possum’s Book of Practical Cats 研究	舟口 依里	
Fiddler on the Roof 研究	作話中のナー・ヘントについて		
平和への願ひ	Frances Hodgson Burnett’s The Secret Garden and Johanna Spyri’s Heidi: A Comparative Study	土瀬 有菜	
Bernard Malamud, The Assistant 研究	Equus の世界から見たたわぶの爽快感	逸見 麗	
Frank Alpine の精神の腫脹について The Assistant におけるトナヤ思想を探る	クリスマス・キャロルが奏でるメッセージ	逸見 結華	
William Golding, Lord of the Flies 研究	スクルージはどのように改心したのか		
A Room with a View 研究	妖精の世界にみる人間	堀内 愛己	
Lucy の精神的成長	「癡癡と癡見」 研究	松田 明子	
Edgar Allan Poe, “The Man of the Crowd” 研究	“The Song of Myself” 研究	松田 晃宏	
The Bluest Eye 研究	Whitman について書かれた回文		
黒人少女 Pecola の自我は何故崩壊してしまっただのか	文学作品にみる絵画研究	松山 展子	
	The Catcher in the Rye 研究	圓尾 梢	
	周囲の環境・人物が Holden に与えた影響		
	Zora Neale Hurston の Their Eyes Were Watching God 研究	三木英理子	
	三人の夫を通じ、Janie はどのように改まったのか		
	The Distorted Figure of Cinderella: As An Ideal Model of a Woman	源 鈴	
	GRAMAM GREENE, THE MAN WITHIN 研究		
	13 作話のトートについて	三井 広子	
	Henry James The Aspern Papers 研究	三輪有希子	
	The Portrait of a Lady 研究	村井希美子	
	なぞへかへしとローレンス侯爵のた		
	Henry James, Daisy Miller 研究	村上 芽衣	
	Daisy の足が象徴的である		
	Kate Chopin の The Awakening における女性の性役割	森 由美子	
	E. M. Forster, Howards End 研究	八杉 真理	
	ヘンリー・ハズレットのキック		
	Jane Austen Pride and Prejudice 研究	Elizabeth の英語	
	柳原 未希		
	Graham Greene, The End of the Affair 研究		
	A Study of Haida Oral Poetry: Robert Bringhurst’s A Story as Sharp as a Knife: The Classical Haida Mythtellers and Their World	山口 悠貴	
	“Snow White” in Grimm and Disney: Historical Background, Images and Comparison of the		

Two Versions	山下 颯子	A Study of The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde	佐々 由佳	The Catcher in the Rye 研究	日野明日香
マーク・トウェイン「不思議な少年」における人間観	山下 俊司	The Door, the Fog and the Bell	五味 禮	Holden Caulfield の子供から大人への成長に至る葛藤	
The Old Man and the Sea 研究	山根 雅和	Edgar Allan Poe 研究	重政 緑	A Study of Robert Louis Stevenson's The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde: Multiple Personalities inside The Human Mind	堀江 友紀
Santiago の精神		ホーの求めた美			
Bernard Malamud, The Assistant 研究	山本 純子	The Ambition of Richard III	高麗 茜	A Study of Jane Austen's Pride and Prejudice	榊 純子
Brighton Rock 研究	山本 賀代	悪の権代リチャード三世の悪行		An Ideal Marriage	
Mark Twain, The Adventures of Huckleberry Finn 研究	山本 桂子	Jane Austen 研究	西口真由美	A Study of Randall Jarrell's The Bat-Poet and Fly by Night: Characters, Poems and Illustrations	稲垣 佳子
Huck の中世交響曲の社会的理想と健全な宇宙観		Pride and Prejudice の主題		The Grapes of Wrath 研究	大下 恵子
Shel Silverstein 研究	横井 和代	Mark Twain, The Adventures of Huckleberry Finn 研究		キリスト教とメロカ資本主義社会	
人間存在の分解		Henry James, THE ASPERN PAPERS 研究	北條 舞	A Study of Mary E. Wilkins Freeman's "A New England Nun": A Subtle Heroine	鈴木 昭子
"The Fall of the House of Usher" 研究	吉武 理恵	「わたし」が手に入れたものは何か		D. H. Lawrence "THE FOX"	横山 俊治
Bernard Malamud, Pictures of Fidelman 研究	吉田 麻理	Poe の生涯との関わりを中心として		狐の象徴性	
英語における敬意表現	吉村 綾香	A Boy's Will 研究	上北 善信	Oscar Wilde の Salome 像研究	米永真貴子
Edgar Allan Poe, "William Wilson" 研究		作者の成長について		The Color Purple 研究	卯冨 俊輔
善い悪の葛藤	吉本あゆみ	作者の独得な自然観から		Toni Morrison Paradise 研究	長田 直美
Bernard Malamud の The Assistant 研究		Lord of the Flies 研究	金山 義輝	過去に縛られるルビーの破綻と未来に飛び立つ修道院の女たちについて	
Frank Alpine の精神的成長	吉本 晋也	Golding の実験的試み	木納 雅美	Jean Rhys Wild Sargasso Sea 研究	黒木 乙恵
Sister Carrie 研究	脇 みどり	日常語の語源		Antoinette の狂気と狂気と狂気との関係	
The Millstone 研究	渡邊 暁子	Saul Bellow, Henderson the Rain King 研究	後藤 咲妃	たか	
子供が Rosamund にもたらしたものの		Henderson の求める reality とは何か		Ernest Hemingway, The Old Man and the Sea	
ゲイリー・スナイダー研究	宇田 恒久	ジャック・ケルアック研究	中岡 正仁	巨大カジキと闘う老人像とその背景	佐藤 光記
無性としての自然		1111 On the Road			

Ursula K. Le Guin の描く "Earthsea" における女性
の自己実現

史学科 日本史学専攻

クロイソ Tamar の人生

行動の比較
キャリア形成過程における体験の進路決定にあたる
影響
宇佐美友範

数についての日英語比較

田北 雅也

第七代大阪市長関一と企業家

青木 一高

「民衆史」とは何であったのか

宇都宮めぐみ

Edgar Allan Poe, The Black Cat 研究

中島 直樹

煤煙問題と企業の社会的責任

鎌倉幕府による京都警衛と佐々木氏

戦後歴史学と「歴史意識」

足利義教期における室町幕府の政治体制について

The Great Gatsby 研究

三角 真理

戦国大名と国人領主の相互関係について足立

貴大 桃子

将軍・管領・奉行人の関係を中心に

大欠 哲

Nick の視点から

向瀬日加里

織田信長の対朝廷政策

飯田早希子

「上使」の機能と「扶持人」問題を中心に

大河内勇介

Saul Bellow, Henderson the Rain King 研究

河野 祐子

古代の薬師信仰

飯田 将吾

日本社会党の思想

大根田洋一

「嵐ヶ丘」について

水野 悠作

高杉晋作

石井 智子

鉄道史とその課題

大前 紀正

日本人学習者における冠詞の習得

川村 嘉輝

『東帆録』中斷理由について探る

石井 里英

朝鮮通信使についての一考察

大山 新吾

『高慢と偏見』

嵯峨 真人

大和における東海系土器の様相

伊集院知子

普選法以後の選挙法論議

奥田 拓

ヘネット家の織りなす笑いの流れ

小谷 樹里

中世京都における被差別民の芸能

貝田佑希子

鳴滝法蔵寺の土地履歴とその歴史的脈絡

垣内 拓郎

Edgar Allan Poe の作品中での死

谷 一新

中世京都における五条橋周辺について

板谷 麻由

町について

加治 真彦

ジャンル別考察から見ること

黄 晶

競馬問題をめぐる政治的攻防

今井 悠

湯沐の性格とその変化に関する考察

上總 由利

小学校英語教育がはらむ問題

勝田 寛子

第一次桂太郎内閣を中心に

今津 拓子

昭和戦前期の警察改革

加藤 純男

Ezra Pound の Cathay 研究

福島眞由美

熊野大社と杵築大社を中心に

岩附ミモザ

戦国武将に仕えた僧

我部山訓宏

フェノロサ訳との比較におけるパウンド訳の特徴

吉川眞梨絵

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川上 剛優

SAUL BELLOW "The Victim" についての論

石田 典久

奈良県鶴山遺跡第二次調査出土石器群の分析を基

上峯 篤史

後北条氏の外交関係

河原 綾乃

Leventhal の心情の移り変わり…犠牲者から加害者へ

困暮と戦争

近世京都出土の土人形

上原 英

安国寺恵瓊の場合

川尻 麻耶

日英語彙比較

近世京都出土の土人形

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

「ライ麦畑でつかまえて」について

日本語と英語の様々な状況における表現の違い

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

「ライ麦畑でつかまえて」について

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

日本語と英語の様々な状況における表現の違い

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

異文化コミュニケーションを図るために

石田 典久

左京区北辺四坊の出土資料を中心として

上原 英

「葉隠」における武士像

川尻 麻耶

「第二次吉田書簡(一九六四・四・四)」をめぐる	安部磯雄の理想	谷 真紀	中世前期・「首」に関する一考察	西尾 麻耶
池田内閣の動向と見解	明治三十八年早稲田大学野球部米国遠征を中心に	西村 晃	古代・中世の畠作物	長谷川名奈美
近世社会における買売春について	トイレ文化に関する一考察	田野 智和	中近世京都における井戸の諸様相	畑 康介
中世の商業	近世を中心にして		神田孝平について	
～保内商人を通して～	平安時代の祭祀の変化と貞観五年神泉苑御霊会の開催	田村 麻美	「開明的」官僚の素顔	
中世後期の瀬戸内海水運と海賊	開催	田村 武司	近世の木地屋に関する一考察	畑中 琢哉
近代日本の衛生行政について	縄文時代晩期の配石遺構	田村 武司	近世武士の知行	羽田裕美子
滋賀県を中心に	長野県における事例検討		平安後期における国衙在庁構造	塙 慶一郎
久留米藩執政部 今井栄の活動	四国遍路の精神的構造	円下 美沙	判官代層を中心に	
～留守居としての再評価～	画期と構成員からの考察		外国人の国民健康保険加入について	林 憲生
幕末の新聞について	一九二〇～三〇年代における日本デンマークについて	都築 隆也	～神戸の中国人を中心に～	
英字新聞を中心に	愛知県碧海郡の事例とその伝播を中心として		近世『妙好人伝』における神祇不拝	原川 喜則
小林虎三郎の教育思想からみる国家観	足利義持期における室町幕府追善仏事	土井瑠見子	近世における歌の流行伝播	日山 春香
矢内原忠雄の思想	明治改暦	内藤 美枝	「さんさ時雨」を通して	廣畑 菜保
承和の変	子供と主婦への時間導入		近世遊女考	
その意味	座敷飾りにおける花について	中根 令子	～島原遊廓の考察を中心に～	
蘇我氏に関する諸考察	中世後期から近世初期にかけて	中原 康博	藤原良房の摂政就任について	深澤 祐也
古墳時代における垂飾付耳飾について	アカデミズムの伝播について		太政大臣との関係を中心に	
研究史を中心として	大正昭和期の中等学校から		日露戦後の部落学校	藤野 真拳
中世後期の庭者	陰陽道の領域	永田 有香	愛媛県の事例を中心に	
～善阿弥を中心に～	室町時代を中心に		足利義教の政治について	古澤 浩司
大日本回教協会と戦時下日本のイスラーム政策	近代女性のヴィジュアル面に見られる変化	長嶺 和葉	比叡山延暦寺との関係を中心に	
天皇と写真	東海・北陸における錘具の様相について		大正期～昭和初期にかけての図書館	木津美樹子
大正期における京都の児童保護事業	近代観光旅行	納屋内高史	『芸艸会雑誌・図書館研究』にみる図書館人の熱意	
～園部マキと信愛保育園～	～特に奈良の外客誘致について～	西井奈都子	茶道報国の時代	前園 裕也
井上哲治郎不敬事件について			茶の湯の近代に関する一考察	
～大東文化学院紛擾との関連を中心に～			陶器製手榴弾から見る陶磁器製兵器の実相	

近世西陣機業に関する考察

萬野 翔子

長州奇兵隊に関する一考察

田中久美子

いて

菊地佐代子

近代日本精神病院における京都府立癲狂院の特殊

薩摩藩における農民統制

内藤佳余子

後藤新平の思想

小松万里子

性 李三 拓摩

ウアチカン外交交渉における戦争と戦後日本

台湾民政長官時代

鈴木 貴大

非常時共産党の拡大と実態

復興についての考察

秋田 真二

「言論暢達」への道

塚本 泰央

大阪府出土の弥生時代木製品

縄文時代の低地型貯蔵穴について

大村 和也

旧制高校生の意識について

丸山 敬央

武器・武具類を中心に

主に近畿地方の事例の検討

川島 真吾

「型」とふるまい

宮武 宏憲

土地と民衆意識の近代

中世庶民の太子信仰

木村 茉莉

古代日本における出雲

和山 真琴

木棺直葬墓の土器副葬

近世の匣鉢について

酒匂由紀子

鬼に関する研究

高橋 慶充

須恵器副葬以後における大和南部を中心に

京焼を中心とした各窯業地との比較

新坂 芳子

文化的公共財としてのプロ野球

寺田 雅洋

弥生・古墳時代における大阪府下の周溝墓の様相

戦国期 京都の土倉

中村 衣里

見世物文化と活人形

島田 義之

中世後期 若狭国二宮と国内寺社

難波の堀江と磐之媛伝承

長谷川麻理

ええじゃないかに関する考察

松田 義之

近世日露外交史についての一考察

『日本書紀』仁徳条に関する考察

中村 衣里

「京」の再定義

寺田 雅洋

十八世紀末を中心に

近世以降の「あかり」についての一考察

長谷川麻理

たばこと社会

松田 義之

建武新政期の公家の動向

諡号による王権へのアプローチ

福本 宗

「イオマンテ」と「ヒグマ儀礼」

新保 直

西園寺家を中心に

織豊系城郭の形成・展開について

古谷 敏彦

アイヌとオホーツク文化における動物儀礼

嵯峨浩

城わりを中心に

飯塚 理恵

史学科 東洋史学専攻

中国帰国問題を中心に

近代の牛乳飲用における民衆の意識変化について

豊福 彩加

清末の反纏足運動

東 英美

織田政権と本能寺の変の関係

中世武家のイエについて

吉田 愛

ドルゴン政権についての一考察

磯部 淳史

弥生・古墳時代の枕

安芸小早川氏を材料にして

山本 美穂

明治初期の日本外交と清朝政府の対応について

乾 巧二

中国地方を中心に

「一服一銭」茶様相

山本 美穂

清初の政治抗争を中心に

植田 展世

小松帯刀と明治維新

中世門前茶屋の成立構造

前田 八一

江華島事件期を中心に

植田 展世

近世の美人と美意識

戦後における軍人恩給の動向について

荒巻 昭博

文化大革命

植田 展世

女たちの流行と変遷

戦国期・織豊期における茶の湯と権力

大久保慎太郎

どのように到ったのか

浦山 郁美

人的関係から見る日清開戦

出土琴および弾琴埴輪からみた古代の琴演奏につ

元の衰退と欽察部族

元の衰退と欽察部族

浦山 郁美

陸奥宗光と伊藤博文との関係を中心に

古森 健史

古森 健史

古森 健史

古森 健史

燕鐵木兒を中心に					
戦国楚の国制についての考察	大澤 直人	鴉片戦争における定海海戦	藤原 康典	前漢代における盜鑄について	平野 宏一
国君権力伸長の過程を通して		第一次定海海戦について			
女媧・伏羲考	岡田 健一	春秋宋における世族と政權推移	細野 泰	史学科 西洋史学専攻	
宋代の出版について	笥 真里	洪武帝の歴史的評価と実像	安永 武弘		
春秋期齊における田氏	木村 俊輔	金末衛紹王朝の史実とその解釈	八井 望	フリードリヒ一世「バルバロッサ」の国家構想	
荀子引詩考	清水 雅哉	牧野修二「チングス汗の金国侵攻」によせて	山口 真嗣	転換点としてのハインリヒ獅子公訴訟	青木 裕介
義和団運動の発展過程と特性	栗原 宏明	日清外交史		SF映画から見たアメリカ社会	朝岡 朋子
漢代の蛮夷に与えられた璽印について	小島 愛子	国際法と捕虜制度		エイリアンの描かれ方とその変化を通して	
「漢委奴国王」印を中心に		現代中国の政治	山城 康隆	グローバル化する近代の時間と空間	足立 雄太
明初の外交に見える東・東南アジア秩序構造について	小柳 輝訓	鄧小平の改革開放論を中心に		暴走する鉄道、飲み込まれた世界	
南北朝北魏における仏教の広がり	近藤 千佳	策彦入明記から見た日明貿易の実情	山戸 康史	アメリカにおける愛国心とナショナリズム	彌富 真吾
韋玄成と宗廟論議	嶋谷 弥生	南北朝の異文化交流とその比較	山本 祐子	中世ヨーロッパにおける聖遺物崇拜と聖書的時間	
宋代の公営医療施設について	杉浦さやか	主に飲食文化について	吉川 和希	観念	上野 敬典
九品官人法について	須内 大輔	災異から見た王莽時代		中世における二つの相反する女性像	岡村 和美
蜀漢軍事制度に関する一考察	高熊 聡志	「漢代との比較を中心に」		聖母マリアとイヴ	
宋代画院における郭熙という人物	高見 昭寛	部族解散について	吉沢 雄太	グローバル化時代の国民国家の対応とわれわれのあり方	押田 有紀
「神宗皇帝の寵愛を受けた郭熙とは」		晋霸期における音の動向	七里 武史	広場の美学	角井 智美
明清時代における武科挙に関する一考察		中国の装飾文様	原木 純子	サン・マルコ広場に見る空間の変容	
		中国食文化	磯貝 篤史	ルネサンス初期における人文主義とキリスト教	
		青花の起源	伊丹 康明	サン・マルコ広場を中心に	
		東西の需要		フィレンツェを中心に	金子 郁子
南唐の官僚制についての考察	中村 友	近世東アジアにおける蒸気機関	奥野 広気	1990年代以降の先進国における地球温暖化対策	
唐宋時代の応報説話について	西尾 一訓	現代中国の婚姻観・家庭観に対する「シングル単位論」によるアプローチ	友田 克彦	アメリカ合衆国、日本、EUを比較して	河川 容子
仏教の普及と関連して		秦檜と南宋政権について	渡邊 陽子	アメリカ高等教育の歴史と発展	川嶋 好洋
日明関係	西野 剛史	チベット問題の多様性	菅原 健太	現代の高等教育の問題点	
「主に明初から見た日本について」		清末民初の女子教育をめぐる諸問題	加藤恵理子	現代アメリカ社会の黒人と人種問題	川端 央祐
外交関係から見る近世朝鮮の日本観について	久岡香菜子	唐代における女性像	川元 優子		

劣等感と逃避が作る障壁

アフリカにおけるネイション・ビルディングと

アフリカ・ルネサンス

中世ヨーロッパの森と農村社会

ポンペイ

Publius Cornelius Sulla の植民の影響

近代における女らしさの抑圧

「死の舞踏」から見る中世西欧の死生観

ローマ「民主政」の可能性

共和政期における民会と公職選挙を中心に

大衆文化のグローバリゼーション

マクトナルド化とポケモン化

12世紀の自然観と動物裁判

イギリスにおける紅茶普及の理由

ヨーロッパにおける音と人

近世フランスのパロック式葬儀における音と人

西ローマ帝国滅亡要因としてのエヴェルジェティ

ズム

過去の記憶と歴史教育

戦後ドイツにおける「過去の克服」を手がかりに

日本の歴史教育を考える

愛情という矛盾

家事労働から考察する「愛情表現」の規範

ローマの奴隷制について

現代アメリカにおける人種的アイデンティティと

その弊害

黒人らしさの追求を通して
大衆社会におけるカリスマ的指導者崇拜

「ヒトラーの台頭から」

中世イギリスにおける道化

20世紀初頭、欧州文化領域における他者の表象

我々と彼等の構造、またその意義

多国籍ブランド企業による「グローバル化」と

「サービス経済化」

「マクトナルドとナイキの戦略」

新たな地位を獲得した女性たち

中世フランスにおける結婚制度の変容

フランスにおける近代国家形成史から見た百年

戦争

オーストラリアのアイデンティティとスポーツ

ハリウッド映画とグローバリズム

大衆旅行の成立と発展

海浜リゾートの盛衰から

プレスター・ジョン伝説の諸側面

成立から発展を通して

第三帝国下の音楽と政治

ナチス・ドイツの音楽政策と音楽家たち

ヴィクトリア時代のイギリス女性の生活史

南米に見る文化の衝突と融合

先住民文化、ヨーロッパ文化、アフリカ文化

共和政期ローマの宗教について

12世紀、宮廷文学の発展と個人の発露

日米比較から見る日本プロスポーツのあり方

谷本健太郎

塚本 洋子

中村 悟志

成清 大輔

広井 康宏

廣末 加奈

廣田 真一

藤原 章

細川 嘉行

堀河 秀樹

前田 絢子

松崎 歩

松富 草多

三田 奈奈

源 邦子

三宅 翔平

他者との葛藤を越えて

「イギリス多文化社会に見る新しい国民統合のあり方」とその可能性」

レーガン政権の「保守革命」

対抗文化への反動と宗教右翼

ヴィンシー政権以降の仏独関係

ヴィンシー時代が何をもたらしたか

カーニヴァルと暴力

中世ヨーロッパにおけるキリスト教と民衆の関係について

「第三世界」のジェンダー

「イスラム・ヴェールの問題から考える」

中世都市と農村における神判の免除

中世ゲルマン社会における信仰の変容

北欧のヴァイキング社会を中心に

アメリカにおける汎アジア系エスニシティ

ヨーロッパ統合における国民国家の変容

ポスト国民国家の可能性

12世紀、シトー会修道院における経済的勃興について

「修道院の社会的位置付けから」

中世における楽師の活動と社会的地位

16〜18世紀イングランドにおける男性同性愛

ソドマイトからモリーへ

空間にみる家族と市民社会の可能性

スペインにおける観光と民族意識の関係

カタルーニャ、バスクを事例に

村松 慶祐

山上 隆史

山口 文子

山崎 浩子

山田 恵生

山本 達也

文化としてのサッカー 梶原 壮裕

そのルーツと発展

アメリカ占領下の日本における教育改革

教育勅語から教育基本法へ 城戸 憲二

エスニック・クレンジング・レイプと民族アイデンティティの関係性 鮫島 剛

旧ユーゴ紛争における民族の蒸留作用について

ソビエト社会主義共和国連邦の歴史的位置付け 高田真由美

西洋における禅の受容と変容 安田 妃佐

中世ヨーロッパ社会における旅人の姿 吉田 篤志

テンプル騎士団とは何であったか 有田 諭

経済活動の観点から

初期ヴァロワ朝における国家と社会の構造 稲田 芳郎

地理学科 地理学専攻

名古屋駅の大規模再開発にともなう周辺地域の商業機能とオフィス機能の変化 青木 仁秀

篠山市における農業振興による地域活性化 青木 瞳

黒大豆生産を中心に 青木 瞳

道路環境の整備と都市地域の形成に関する考察 浅田 賢正

〜亀岡市を例にして〜

子どもの生活空間に関する都市と村落の比較研究 東 望実

武庫川団地と淡路島の事例 望実

中学生が持つ自分たちの住む町のイメージとそのギャップ 足立 達矢

立命館大学文学部卒業論文題目

島根県八束町を事例に

岸和田市における溜池潰廃と灌漑 阿部 真佳

地域属性に心じた自主防災組織の活動・運営に関する研究 石井 一徳

京都市を事例にして

「ひつたくり」発生地を考察 石井 康裕

〜京都市を事例として〜

砺波地方における合併市町村と広域圏の地理的不整合に関する考察 石崎 宣昭

地場産業における後継者問題についての考察 石丸加奈子

規模別・工程別に見た西陣機業を事例として

上七軒のお茶屋と地域変化 市川 浩

大学生の通学手段と自転車利用に関する研究 井上洗太朗

立命館大学衣笠キャンパスを事例として

滋賀県彦根市における観光地域の形成と変容 上田 恭平

不動産広告からみた大阪市内の地域イメージ 宇野 博之

京都市におけるスーパーマーケットの立地展開 梅谷 雅光

京都市中心4区における空間利用の特性 容積率の実現度の分析から 奥 直也

大規模小売店の立地の変化 奥野 博也

滋賀県南部・西部地域(5市1町)を例として

能登空港建設による能登地域の観光産業への影響 小田 竜太

和倉温泉の変化を事例として

観光ガイドブックにみられる社会的場所イメージについての考察 河西 隆宏

『るるぶ』を用いて

山鉾巡行のルート変更における周辺地域への影響 梶本 真美

自動車産業が都市に与えた影響 川井 和彦

愛知県豊田市と春日井市の比較から

京都市における歴史的景観の維持と地域への影響 川本 晃子

伝統的建造物群保存地区を事例に

大学移転に伴う地域変容 岸本 章吾

立命館大学衣笠キャンパス周辺地域を事例に

先住民文化の見せ方と大都市からの近接性 北川 裕理

台湾烏來村泰雅族観光を事例に

野菜に対する消費者ニーズと行商の意味 北村 陽一

〜京都市北区を事例として〜

遺伝的アルゴリズムによる通学区域の設定 桐村 喬

大阪府吹田市を事例として

江戸時代後期人口変動の地域的特性 葛巻 辰也

規制緩和期における酒屋の立地特性 久保 準

〜京都市上京区を事例として〜

交通利用意識から見た大学生の通学圏 黒木 宏平

〜立命館大学を例にして〜

大阪湾沿岸部における漁場認知 神田 和明

地方都市中心商店街の活性化と地元住民の購買活動 小島 洋哉

〜滋賀県長浜市を事例にして〜

観光アメニティの評価からみた日本人観光客と外

国人観光客の比較 小林 義明

北海道札幌市を訪れる日本人観光客と中国系観光客を事例に

大阪府におけるファミリーレストランの立地展開

島嶼社会とその産業の考察 酒匂 慶

鹿児島県三島村竹島の事例

沖縄風力発電システム導入と運用における環境

負荷分析 佐多 礼子

輪中地域住民の住民意識 佐藤 裕也

京都府における高齢者福祉施設の立地特性

新聞購読層における政党投票の傾向と空間的分布 澤野 三郎

2001年度参議院選挙・京都府を事例として

歴史観光都市京都における観光資源保存について

生産森林組合の経営状況と制度的問題 重本 拓男

愛媛県中予地域における高齢者福祉サービスの供給と地域格差 篠原 伸佳

清水寺参道の空間利用と色彩構造 島崎 薫

滋賀県における製薬業地域の変容 嶋田 美沙

甲賀完葉を中心に 保護者が選ぶ保育所選択の理由についての考察

大阪府高槻市北部を事例として 清水 耕平

京都市都心部の空間変容 志水 大雪

季節型観光地と通年型観光地の比較研究 新藏 陽子

京都市におけるペーカリーの分類別立地特性 菅原 弘行

ニュータウンにおける環境との共生によるまちづくり 秋谷 汐織

西神南ニュータウンの住民の意識調査からの一考察

輸入野菜からみた中央卸売市場の地域的特徴

京都市郊外の住宅団地における生活環境 高山健太郎

歴史的街並みの景観評価 滝川 雄紀

京都市西陣地域の京町家を事例として

北海道における人口移動 滝口 智大

家庭系ごみ収集にみる行政サービスの地域差と変化 田中 翔太

京阪圏とその周辺地域を事例として

鳥根県東部1市2町における老人福祉サービスの実態 為国 寿紀

入所型施設を中心として

パークアンドライドシステムにおける観光地への近接性 辻 快作

奈良市における修学旅行生の動向と宿泊施設の変容 辻 直子

千里ニュータウンおよびその周辺地域における集合住宅の景観 角田 昌司

京都市における近郊農業の変容 鶴野 絢子

女性・高齢者の役割を中心に

アクセスを通してみた関西空港と伊丹空港の競合について 當麻はるな

京都市における旅館の立地 富田 貴之

ホテルとの比較を通じて

近畿地方におけるアミューズメント施設の立地展開 中路 彩希

松山市南郊における幹線道路沿線の土地利用変化 永井 康史

地方都市における地場産業の動向とその役割 名和 宏明

岐阜県岐阜市アパレル産業を例として

コーポラティブ住宅居住者の住空間イメージからみた居住地選択 橋本 達朗

観光都市の空間的性質 長谷川善崇

兵庫県姫路市を事例として

山口県における「道の駅」の集客圏についての研究 林 沙衣子

名古屋市名東区北西部におけるコミュニティ活動の変容 原 由希子

過疎地域における消費者購買行動の一考察 萬上 俊介

石川県羽咋郡富来町を事例として

市町村合併に伴う公立中学校再配置の検討	兵庫 東磨	兵庫県における内水面漁業の地理的実態	森崎 大亮	岐阜県旧伊自良村を事例に	
兵庫県丹波市を例として	深田	千種川を中心に		定期市の新たな機能	山本 育美
観光活動による自然環境への影響	福田祐美子	京阪神地域における遊園地の変容に関する地理学的考察	山崎 香織	京都市左京区、知恩寺における「手作り市」を事例として	
熊野古道を訪れる観光客の意識から		杜氏と後継者問題	山田 拓生	広島湾岸地域の官約移民	吉岡 航
GISを用いた都市公園の整備過程と配置状況		京都市伏見区の酒蔵を事例として		佐伯郡旧木野村の事例	
札幌市を事例として	細木 貴洋	京都市街地における宿泊施設の地理的変化	山田ゆかり	都市公園の役割とその展望	榎本 和
滋賀県の土地利用変化に関する考察	増田 圭吾	三條大橋周辺を中心に		千里ニュータウンを事例地として	
広島県における郷土料理の伝承に関する考察	升原 且顕	京都錦市場商店街における「錦ブランド」の意味	山本 愛美	市町村合併後のまちづくりにおける旧市名の利用	
山口和町のワニ料理を中心に		子どもとその居住地の人々との関係性	吉村 美砂	旧清水のまちづくりの事例から	山崎 彩
山岳道路における二輪車の交通事故発生パターンの考察	俣野 吉史	京都市北区新大宮商店街を事例として		保育サービスの変化による保護者の保育所選択行動	下山 智央
国道162号線367号線を事例として		岐阜県白川村における景観保存と観光地化に関する考察	米村 守雄	大阪市都心部における人口の再集中	寺川 貴之
地方県庁所在地周辺における都市化現象	松田 祐子	大学生の居住地選択とその移動	渡辺 淳	マンション立地と居住地選択の視点から	
京都市におけるスターバックスとからふね屋の比較研究	三宅 宏通	立命館大学学生を事例として		京都市におけるマンションの立地と特性	永田真喜子
宿泊施設内の高齢者向け設備に対する高齢観光客の意識と実態	椋野まゆみ	敦賀平野における地形環境の復原	大塚 夏子	阪神大震災前後における土地利用変化	小林 和弘
奈良市を事例として		文学作品における場所の記述についての考察	家田 陽子	阪急西宮北口駅北東地域を例に	
京都市における診療所の立地展開	望月 崇久	昭和20年～40年代の京都を事例として		静岡県焼津市における高齢者の生活空間	余暇活動に注目して
奄美大島本島における道路開発の地域に与える影響	森 勝馬	京都市の寺院がかもし出す音環境に対する地域住民の意識	大川 豪	余暇活動に注目して	杉山 透
大都市圏郊外における住宅地の形成過程		妙心寺周辺地域の住民を事例に		京都市の産業構造・集積分析	多喜 広城
宇治市を事例として	森田 由季	地下空間のメンタル・マップ	小井戸東洋太郎	都心と南部を中心に	
泉北ニュータウンにおける高齢者の生活空間		大阪梅田地下街を事例として		草津市南部における土地利用の変化	成山 哲平
社会関係と施設面を中心に	森内 隆司	高齢者の認知距離にバリアフリー化が与える影響	杉町 大輔	交通機関別旅客流動パターンの分析	藤田 元樹
地域性からみたホテルのバリアフリー施策		山村地域におけるダム建設の効用	横山 典昭	京都市中心市街地域の空間変容	小田 淳子
京都市を事例として	森岡 裕樹			姉小路通の分析を中心として	
				外国のガイドブックに見る京都の空間的記述	友原 嘉彦
				国道43号線沿線のガソリンスタンドの小売価格	

変動について

広告からみた店舗の商圈

中濱 敬智

日本とイタリアにおける仕事と子育ての両立にまつわる諸問題

野村 将彦

異性装演劇

井上 寛子

クリムトの絵画における装飾

本岡 悠

京都市の銭湯における浴場広告を例に

工藤 裕孝

シェイクスピアと少年俳優

大井真理子

エロティシズムと女性像

保田 憲三

都市化地域における農地保全

日蓮主義による石原莞爾の歴史認識

戦争と宗教の関係

川口 晶平

西洋美術に表された矮人

山中 美央

～横浜市を例として～

ブルースに宿る精霊

ロバート・ジョンソンと憑依体験を共有する信者

近藤 圭太

ドイツの職業教育制度

江上 有香

京都市都市部における時間貸駐車場の立地展開

正木 孝典

ロバート・ジョンソンと憑依体験を共有する信者

近藤 圭太

歌う顔

青山 佳代

タイムズを例に

大八木紘子

パンと日本の人々

田辺 佳代

フロイト『人間モーセと一神教』におけるユダヤ的なるもの

太田 尚吾

人文総合科学インスティテュート

(人間と情報)

色手掛かりの優先性の研究

大八木紘子

日本の色概念

齋藤 淳子

『失楽園』におけるルシファールの愛

藤原未沙絵

色の飽和度が情景の再認に与える影響について

月田 恵

～明治を境として～

辻村 智里

『失楽園』におけるルシファールの愛

吉原 盛央

人工物のある情景と自然の情景の対比

唐紙工房からの報告

カルフル ショック

坪井 志織

古代ギリシアにおける少年愛と教育

西村菜穂子

メールアドレスに見られる新しい傾き錯視の研究

今城 裕香

新風としての外資系ハイパーマーケットと日本流

坪井 志織

人文総合科学インスティテュート

(人間と表現)

人文総合科学インスティテュート

(言語と文化)

色のもつ意味

富田 美咲

高知よさこい祭りについて

荒木絵美子

映画でみる1980年代のアメリカと日本の情勢・文化

橋本 愛子

遊びと人間形成 我々は遊びを通してどのように成長するのだろうか

池 佐和子

ヴェネツィアと音楽

浅野 顕子

「夢」と「戦争」のテーマ

橋本 愛子

～スタンド・バイ・ミーに見る子ども達の発達～

池 佐和子

ヴィジュアルティから見た当時の社会と音楽について

石田 喜葉

京都におけるカフェの登場とその変容

原口和香子

智積院襖絵『婦女喫茶』

池尻 七恵

平安後期の仏画にみられる色彩と文様

春名 梨紗

アイヌ民族と教育

春名 梨紗

～堂本印象の美の変遷歴からみる智積院宸殿襖絵の成果とその表現の由来～

東寺五大尊を中心に

板井 洋平

リフレクソロジー Reflexology

古谷 あい

『ベルばら』と『エリザベート』のあいだ

池田 雅代

金融王ロスチャイルドとワイン

板井 洋平

リフレクソロジー Reflexology

古谷 あい

宝塚歌劇の転換点

池田 雅代

日本語を母語としない子ども達のための教育

乾 史弥

リフレクソロジー Reflexology

古谷 あい

シュトゥックハウゼンの音楽におけるセリエルな思

池田 雅代

考の展開

『MOMENTE』を中心とする考察

石田 直輝

タビエスの理論から実践へ

昭和初期の股旅物ブーム

林 祐子

岩館真理子論

『家族とアイデンティティ』

森本 祐加

芸術としてのアニメーション

茨木 美和

長谷川伸、その作品と大衆

古川 順子

劇場という「ハコ」

大津留雄平

『ディズニー』『白雪姫』を中心に

縛られる音楽

上田真理子

秩序化される身体

前田 朋香

『空間の魅力・威力』

『早期教育をめくって』

大江 愛

創作「走る体」が目指したもの

松見 有規

人文総合科学インスティテュート

(アジアと現代)

『拳』の歴史の変遷と「指遊び」の今後

『魔術的リアリズム』とは何か

大江 愛

カラヴァッジオの「死」と「闇」

三木由美子

「南京事件」論争の経緯と論点

『1960年代ブーム』にみるラテンアメリカ文学

太田 有美

『その生と芸術』

好川 里子

「南京事件」論争を理解するために

少女漫画の面白さとは何か

金子 真弥

マーク・ゴンザレス

南浦亜希乃

「拳」の歴史の変遷と「指遊び」の今後

『漫画が文明になりえる時代の一考察』

吉川 和伸

『アウトサイダーアートの魅力』

山中 良美

周恩来の性格的特性と外交手腕

ジャニス・ジョップリン

黒川 美希

即興演奏

吉田紗奈衣

『白人』から見た日露戦争

『人間の表現方法として音楽をとらえる』

小池 香子

ヴィキング美術における「ドラゴン」装飾

村本 奈穂

放浪の民「ジプシー」

『「台風クラブ」を中心に』

小松 愛子

レメディオス・ヴァロ

吉田紗奈衣

『定住民と非定住民の「共生関係」』

『アートセラピーの可能性に向けて』

住田 道治

シウルレアリズムと女性の創造精神

加藤 早織

『Hip Hopの変化と深化』

『個人性と非個人性』

清家 舞

国章に象徴されるスペイン史の「闇」

堀野 和弘

『エロエロの持つ魅力とは』

『ヤン・ショヴァンクマイエルの魅力』

辻村 碧

女形から考察する歌舞伎の理想美とその虚構性

佐伯りん子

『顔文字が文章の印象に与える影響』

『音楽療法の理論と実際』

「治」ではなく「癒」を求めて

How to be a good musician

高野 太一

『香港の近現代』

『ヨハネス・イッテンの「芸術」と「全人教育」』

『その方法と目標』

「声」の力

澤田 佳代

『現代日本ナショナリズムと皇室のあり方』

『素材との格闘』

野村 洋子

発情する音楽

佐原 弘章

『内地雑居論争と今日の外国人問題との比較』

『立命館大学文学部卒業論文題目』

「コミュニケーション現実逃避論」

西田幾太郎の「純粹経験」の観点から

高野 太一

『上方落語の活性化』

『その現状と課題』

その現状と課題

その現状と課題

その現状と課題

その現状と課題

ロシアアニメーションの魅力
アジアンビューティーの追求

現代における食
スローフードの発展

自尊心の振幅
社会的比較を指標として

人文総合科学インスティテュート
(文化と社会)

『イージー ライダー』における自由の探求
60年代カウンターカルチャー
新薬師寺蔵十二神将像の造形表現について

自尊心への注目が援助行動に及ぼす効果
大学講義のエスノグラフィ
幼児の事物名解釈における相互排他性制約と文脈利用の検討

バスクナシヨナリズムをめぐる動きとその歴史的経過、現状について

サッカーから見るスペイン現代史
小説作品「大鼓たたきと踊る日々」
人形劇を探る

記憶と再生
大学生の図書館利用における場の占有行動について

身体装飾の思想

ATG(アート・シアター・ギルド)映画に関する一考察

アスペルガー症児における言行一致訓練適用による適切な行動の促進

中国映画にみる同性愛とタブー

なぜ低予算映画で高評価を得るに至ったのか?
日本人と酒

缶コーヒーのパッケージがコーヒーの風味評価に与える影響

『アイ・アイ・サム』論

四国遍路の変遷

缶コーヒーのパッケージがコーヒーの風味評価に与える影響

文化媒体としての日本の著

「野宿者」に対する「市民」の偏見と差別の構造

フリースローにおいて「ルーティン化された動作」の効果の検証

素木から装飾まで

「中高年男性の役割モデル」からの「脱逸脱」

顔の向きの違いが未知の顔の再認記憶に与える影響

『ピリー・ホリデイ』「奇妙な果実」

アチヨリの人びとにとつての戦争

異角度においても意味処理優位性効果は生起するか

環境問題…未来への方法論

ウガンダ北部におけるシエルトー建設の現場から

ストループ課題における呈示、順序の効果

韓国におけるキリスト教の展開について

心理学専攻

携帯メールを使用したコミュニケーションの拡大

北野武論

スポーツ場面におけるイメージトレーニングの効果

援助設定としてのひらがな表カード

『座頭市』を中心として

果の検証

大学生における、関係性に基づく感謝表現の変化に関する研究

映画とシナリオの関係性

単一刺激課題と混合刺激課題における分散効果について

そるばん熟達者の課題記憶時における脳血流量の変化

『映画「たそがれ清兵衛」にみえる影響について』

化粧における色の効果の研究

登校拒否経験のある大学生の自我同一性

巨大絵画と主題の実現

高山真理子

登校拒否経験のある大学生の自我同一性

岡 やよい

宮越 妙子

寺田 育世

荒川恵理子

星 穂り

中村 公彦

有吉 幸裕

内山 直人

室谷 元春

有吉 幸裕

大貫 菜穂

山本 宣義

井伊真里奈

岡崎 愛

吉岡菜生子

池田佐和子

尾関 昭則

巧 伸太郎

石田 香織

小野寺奉恵

坂本 憲祐

石原 衣美

木戸万里絵

柴垣 大輔

伊藤 保人

久保田美紀

桜木奈央子

井上 昭人

佐伯 祐美

相庭 幸恵

岩城 智史

下香川祐子

赤木 亜衣

太田 隆士

高田 陽介

麻田 智佳

太田 恭司

巨大絵画と主題の実現

NIRRS (近赤外光イメージング装置)を用いて の検討	岡崎裕紀子 笠木 麻里	測度の関係	黒田佐世子	コールドブレッサー課題における痛み耐性時間と Acceptance and Action Questionnaire & #8211; Revised (AAQR) の相関関係の検討	竹原 智子
視覚の誘導場と文字の印象の関係	笠木 麻里	幼児における想像と現実	小牧 秀資	展望的記憶課題に影響を及ぼすパーソナリティ要 因について	立石 将也
スポーツ選手のウェイト・コントロール	笠木 麻里	共感性及び被援助者との関係が援助行動に及ぼす 影響	古見 千里	対人不安とコミュニケーションメディアの利用状況 について	田中 雅久
説得における恐怖喚起コミュニケーションの研究	柏木 勇吉	親への態度・行動と自活経験との関連について	後藤 章	ベル鳴らしのエスノグラフィ	田中由紀子
音読・計算を中心とする前頭葉トレーニングが認 知能力に及ぼす影響	片桐 惇志	青年期後期の青年を対象として	齋藤 美菜	混雑度と危険回避行動に関連して	茶木 希望
中学生を対象として	加藤 崇	簡易性と習熟性をそなえたインタフェースの開発 と評価	佐々木孝之	音楽作品の心理的效果	視覚からの情報認知に及ぼす影響について
大学生のブロック構築における創造性の強化	加藤 崇	ADHD児における指しやり行動の行動的介入 と検討	佐々木裕美	視覚からの情報認知に及ぼす影響について	小林 礼
保育園児の遊具における危険につながる行動の 抑制	加藤 大作	聴覚性音圧変化知覚が視覚性コントラスト変化知 覚に及ぼす効果の検討	佐藤 匠太	小学生を対象とした作文における読み手と目的の 設定による確立操作と支援ツールの効果の検討	辻本 礼
行動分析的アプローチを用いて	川田 敦子	背景と文字の明度差が印象に及ぼす効果の検討	佐藤 幸恵	知的障害がある生徒に対する「選択決定」スキル の指導	土田 菜穂
画像記憶におけるシーン写真の先行呈示が及ぼす 境界拡張への影響の検討	川田 庸平	絵画によるメッセージの伝達	清水康太郎	否定選択肢の導入による体系的な指導方法の確立 を目指して	
室内場面と屋外場面の比較	川平 理絵	大学生の回想における自我体験の調査	瀨川 雄介	幼児の描画における知的リアリズム表現の生起要因	内貴 陽子
幼児期のメタファー	川平 理絵	大学生におけるネガティブストレスイベントとそ の対処行動についての研究	高田 沙織	加齢に伴う抑制機能の変化	内藤 良太
幼児は擬人法をどのように理解するのか	川平 理絵	アパシー傾向との関連についての考察	高橋 千恵	中期夫婦の情緒的関係の様態と職務ストレスと の関連性	中尾有理彦
青年期の自己開示	川平 理絵	気分の高揚と自己焦点化が援助行動に及ぼす効果	高橋 千恵	集団規範の重要性がその認知的構造・実効性に及 ぼす影響	中島 涉
大学構内における迷惑行為の軽減に関する研究	川縁 明子	経験者の語りから人工妊娠中絶	高橋 千恵	Jackson の return potential model を用いた検 討	
より具体的内容のポスター掲示の効果	鬼頭 直子	観葉植物のどついつた要素が作業成績に影響を与 えるか	高橋 千恵		
社会的状況とメイクアップ化粧	木梨さやか	印刷物における文章の読みやすさ (legibility)	高橋 千恵		
野宿者についてのエスノグラフィ	木梨さやか	印刷物における文章の読みやすさ (legibility)	高橋 千恵		
野宿者と非野宿者、双方の視点から	木梨さやか	印刷物における文章の読みやすさ (legibility)	高橋 千恵		
大学生における物語テストと質問紙による共感性	木梨さやか	印刷物における文章の読みやすさ (legibility)	高橋 千恵		

青年期における身近な人との死別経験と死に対する態度 中田 誠志

大学生による割合文章題解決過程の分析 中西 由香

安静に対するリラクゼーション映像の効果 中根佳菜子

脳波周波数帯域成分 波および 波による検討

幼児期における再帰的な信念の理解 中村 敦

禁止標識のフレーム形状と認識評価 中村 成美

幼児の向社会的行動における共感性と他者存在の関連 中村 能乃

漢字熟語における認知過程の検討 中村 嘉宏

意味判断課題を用いた形態・音韻処理の検討

「書き」は脳機能を活性化させるか 長田 岳大

高齢者の個別性に視点を置くことの意義を検討する

ハンドボールのパスにおける行動的コーチング 生川亜紗美

社会的カテゴリー化による内集団・外集団分けから見た同調行動 成瀬 竜也

大学生における自己意識と他者意識 南條 貴子

視覚効果が数学的問題解決に及ぼす影響 難波 美佳

図による文章からの学習の促進効果 西野 秀樹

説明形式の操作による一般化

文章レイアウトによる読みやすさの変化 西脇 圭

横断歩道における歩行者行動の検討 野条 翼

ベータ運動に関する心理学的研究 服部 浩樹

自己評価維持モデルが認知的不協和に及ぼす影響

橋本有紀子

精神障害者に対するイメージと偏見に関する研究

畑山 ゆり

大学生を対象にした実態調査をもとに

化粧の段階による対人魅力の変化 早狩 美穂

色彩嗜好における心理学的研究 原田 綾

白嗜好に注目して

においによる味覚への影響 馬場 美穂

行為の生態心理学 平沢 大輔

マイクロスリップから

内向者(Shyness)における自己注目と自己補償の効果

廣瀬亜衣子

無作性性と犯罪不安に関する環境心理学的検討

落書きに着目して

福井 正孝

離脱可能な社会的ジレンマ状況における他者行動

や環境変化が協力行動や解決策選択に及ぼす効果

占いの個人的・社会的影響 福田 秀明

摂食行動におけるモデルの摂食量の効果 福原沙恵香

認知的不協和の強弱と不協和低減量 福原 昌則

保育場面における保育士と乳児のコミュニケーションの研究 藤井英里奈

転入生の仲間入り行動からみた小学生の友人関係

船槻さやか

小学3・4年生の休み時間を対象としたフィール

ドワークから

不快情動が短期記憶に及ぼす影響 古家 宏樹

大学生の親子関係と友人関係および充実感との関連

前田 智恵

園児の親の発達期待としてつけ方略及びその関連性について 眞木 理

視覚記憶を指標とした選択パラダイムにおける不協和低減行動 蔭田 葉子

暴力映像と攻撃行動 増野 靖浩

映像内容の正当不道および怒り喚起との関係

痛み耐性の増大に及ぼすアクセプタンスエクササイズの効果 舛森 聖

減量希望者における支援ツールによる体重減少の検討 松田奈津代

幼児・児童の「みたて」における象徴機能の発達

三浦奈都美

匂いの共感覚 水谷 友美

オルタナティブメディア創出の場におけるアクシ

ョン・リサーチ 宮下 太陽

幼児の描く想像画の発達 宮下 智子

今あるものを違つものへ変化させた際の変更方略の検討

暴力的ゲームが生理反応に及ぼす影響 宮田 晃隆

脳波を指標として

気分が状態共感に与える影響とその過程についての仮説検証 村上 嵩至

認知と感情の関連性とその情報処理過程

気分一致・不一致効果とその要因 村上 舞

グループ学習と個別学習における読解力向上の比較検討 室 智子

性格における自己評価と他者評価の差異について

森 伊佐夫

下線引き行為による学習への効果 森岡 美帆
中学生の社会的スキルに及ぼす影響要因について
の研究 森田沙綾香

友人関係・家族関係を中心にして
乱数生成課題と作動記憶の関連について 八木 智之
進出色・後退色におけるフィルターレンズの効果
山内 学

八上における運動 (Interlocking) スケジュールで
の反応率の推移 山岸 大輔
4色の配列及び明るさの違いによるカラフルさの
検証 山口 直美

音響スペクトルを用いた感情の表現・認識と内向性
外向性との関連の検討 湯浅 健介
大正時代の日本における法心理の心理学的研究
横田 暁子

文字と背景の組み合わせが文字の見やすさに与え
る影響 吉川 路子
音読・単純計算・書きによる学びと認知機能の向上
小学生児童への介入 吉武みどり

高齢者の現実自己 理想自己の差異と自尊感情と
の関連 吉田 美紀
自我関与とDistractionが、決定後の偏愛に及ぼ
す効果 吉村 健

ミニラー・リヤー錯視における喫煙の効果
義村 洋史
スカッシュにおける行動的コーチングによる指導
方法の検討 四元裕美子

聴取側の情報が目撃供述に与える影響 若林 宏輔

～供述分析的アプローチ～

追っかけの行動と心理 脇田奈緒子
読み書き・単純計算による学びと認知機能の差異
(小学生児童への介入) 渡辺 太郎

青年利用者における自己観察と結果の公示がイン
ターネット過剰使用の抑制に及ぼす効果
金 裕

スーパーレジ袋の削減に関する行動分析的研究
データ付きポスター提示の効果 孫 群 慶

小学生の計算トレーニングにおける成績向上の効果
シェイピング手続きを用いて 塩見 有希
大学生における公的掲示を用いた印刷機利用行動
の変化の検討 豊原 隆

社会的状況とパーソナリティ 今井 雄亮
ソシオメーター理論について
家族貢献に対する自己・配偶者評定の差異
内山 友美

夫婦満足度・中学生の精神的健康への影響
表情表出と性格特性について 岡田 泰伸
発達障害児における学習が行動に及ぼす影響
片岡 依子

幼児画における性差傾向と大学生のその幼児画に
対する評価 勝股 祥子
携帯電話におけるコミュニケーション行動の特徴
川村 光

携帯メール利用実態と状況別メディアの選択
乗馬が心身の健康に与える効果 塩見 仁

説得的コミュニケーションに対する被影響性の研究

性差と自尊心が及ぼす効果について

女子学生における交友関係の特徴についての研究
田中 智子
死の顕在化による存在不安が同調行動に及ぼす影響
豊田 英一

社会的アイデンティティを求める人間行動
高齢者ケアにおける回想の有用性 中村 季子
高齢者の個人回想による心理変化から

失語症児における教示要求表現の形成 丹生 卓也
幼児の砂場遊びにおける遊びの共有の年齢別比較
西嶋 友美

日常場面における香りが記憶に及ぼす影響
橋本 友希
エッセンシャルオイルの香りに対する心理的作用
の評定と再認記憶との関係 干場 美紀

～アロマセラピーの心理的作用の検証～
比較状況における日本人の自己高揚傾向と自尊心
に関する研究 松崎 美穂

幼児における主人公の考えと意図の理解
一般大学生の無気力の実状 結城 匡彦

母親のジェンダー観の形成と発達について
文章作成課題における音楽聴取による気分一致効
果について 吉田 千夏

知的障害を持つ成人の料理スキルの獲得
写真付きレシピを利用して 杉本 梨江

CFQと自動車運転シミュレーション場面の関連性について 吉村 良美

注意の集中、および配分の観点から

携帯電話を利用したコミュニケーションの拡大 飯田 智子

知的障害のある若者の遠隔地のコミュニケーションにおけるテレビ電話の利用

幼児、児童における立体物の描画表現 石井真由美

Co/No-Co課題を用いた行動調節機能の形成過程について 伊藤加依子

高年齢者の心理的居場所に関する研究 稲生ゆみ子

携帯電話料金削減に対する行動分析的介入 植田 祐可

高年齢者の日常生活におけるフロー状態について 坂口 佳江

セルフエフィカシー向上による初産婦の出産不安軽減効果 鈴木 律子

NIRS(近赤外光イメージング装置)を用いた対話時の脳血流量の変化 高倉 薫

性的被害における男女間の謝罪に関する評価の違い 松岡 史子

「死」に対する意識に関する研究 葎屋 康子

死に対する経験の違いが何をもたらすのか 宮田 正子

親と祖父母からみた祖父母の現実の役割と理想の役割 安澤奈津子

看護師の老人患者に対するイメージについての研究

生活習慣におけるセルフマネジメント 高木 玉江
家族機能と精神的回復力の関連についての検討 鈴木 略子

NIRS(近赤外光イメージング装置)を用いた自然環境音がリラクゼーションに及ぼす効果についての検討 村上 奈穂

卓球のパワードライブに対する行動的コーチング 宮岡 学

SIMON効果における二重課題の効果 鈴木 智子

ジnkクスとアスレティックパフォーマンスの関係 松葉 大樹

日・韓大学生の高年齢者に対するイメージに関する両国の比較研究 宋 恩 恵

日本の周辺地域における高校生の地元意識に関する質問紙調査 鍛治梁義人

テーマリサーチ LA

対話的コミュニケーションの地平 荒井 美穂

「薄れゆくわたしの主体性」^{アイデンティティ} FGM/FIC(女性性器切除/割礼)にみる文化表象 黒川 愛子

カニバリズムについて 曾谷 有紀

成人女性の生涯発達について 善井 悠子

アイデンティティの視点から文化財の現場における諸問題 佐藤 俊彬

「展示」を越えた「活用」としての新たな取り組み

家庭教育と学校教育の役割分担 竹山 美佳
日本人の自己と他者における距離感について 轟 知布

テキストとしてのマンガ論 石川 優

文明間の自己と他者 武田 奈緒

その対話の道を探る方法

テーマリサーチ LB

魔女狩りにおけるジェンダーについて 辻 聡子

竹久夢二の女性観 堀 清香

家族におけるジェンダー役割 青野 沙樹

自殺と家族 東野真伊子

第三世界ジェンダーへの眼差し 荒木 沙織

「女性性器切除を通して」 坂口 典子

学校教育におけるジェンダー 白石 亮太

沖縄女性はどう語られてきたか 藤本江里子

女師・一高女における服装を中心として 松山 敏

ポルノグラフィについて 吉積ひとみ

女性の社会進出について 『風光る』から考える働く女性のあり方 慰安婦問題に対する個人的見解と子供達にどう教えるべきかについて 赤瀬 光也

テーマリサーチ LC

- 視聴覚教材の製作 緒方 綾希
- 視聴覚教材の製作 小川 恵子
- 方言プロジェクト 片山 優香
- 方言プロジェクト 小櫻 恵子
- 英語教材としてのマザーグース 小寺 夏子
- 洋楽と邦楽における韻律の研究 島崎友里香
- 方言プロジェクト 本部 りん

中学校英語科におけるコミュニケーション活動の

ための教材集制作 森 真理子

日本語と英語での単語における文化的意味合いの

定義付け 山岸 純子

フォニックスを使った英語学習 横山 和絵

日米擬声語比較 横山 友里

その共通点とは何か？

方言プロジェクト 渡邊 実誠

テーマリサーチ LD

サントリー（三得利）の中国進出 衣川 慶

中国語ネイティブが日本語を学習するにあたって

の音声上の困難点 松村 優

長音、促音、濁音に注目して

チベット文化と仏教 加藤美由紀

中国漢字の簡略化問題 清水巴里絵

中国における出稼ぎ労働者の実態 西田 朋代

中国における日本の植林活動
日本と中国・両国のナショナルリズム
靖国神社問題を巡って

三田 詩織
吉田 武師

祇園祭と戦後京都の観光事業について 末吉 透
京都の観光と祇園祭 伊井 美幾
アンケート調査から

中国人女性の社会進出

桂川 弥代

京町家と都市景観 吉河 祐子

年画と浮世絵による文化比較

小林 悦子

明治期のある地方紙における祇園祭の記述の変化

チベットにおける自治の現状と展望

後藤加寿美

「京都日出新聞」を事例に

台湾における外食形態の変貌

亀田 隼

女人禁制と祭り

大連における日本企業の進出

塩田あゆみ

祇園祭の中の女性

現代中国の風景に溶けこむ狛犬像

榎谷 弥世

中国「绿色食品」の発展

山本 香織

テーマリサーチ LF

京都と観光

佐藤美智子

〜リピーターを獲得するよような修学旅行の提案を目指して〜

屏風祭の環境と変遷

井川 政慶

祇園牛頭天王の研究

吉野 靱

祇園祭における粽について

山崎 優

祇園祭を彩る景観色彩

渡邊 美紀

〜景観を守る企業努力〜

京都を創ってきた伝統産業の今後の在りかた

〜フィレンツェとの比較を交えて〜

杉本 悦子

アメリカ人観光客と『KYOTO』

新納可奈子

平安京（京都）の呪術的結界

青木 美奈

八坂神社の多宝塔

秋廣 隆也

時代祭の変遷から見る京都

池田 拓

京都の近代化と街路

黒井 裕